

製品名: DUSP4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86742**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:20-1:50, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:43 kDa

抗原情報

遺伝子名	DUSP4
別名	TYP; HVH2; MKP2; MKP-2
遺伝子 ID	1846
SwissProt ID	Q13115
免疫原	ヒト DUSP4 の組み換えタンパク質

背景

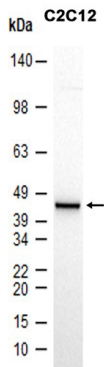
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二重特異性タンパク質ホスファターゼサブファミリーのメンバーです。これらのホ

スファターゼは、ホスホセリン/スレオニン残基とホスホチロシン残基の両方を脱リン酸化することで、標的キナーゼを不活性化します。これらは、細胞の増殖と分化に関連するマイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼスーパーファミリーのメンバー (MAPK/ERK、SAPK/JNK、p38) を負に制御します。二重特異性ホスファターゼファミリーの異なるメンバーは、様々な MAP キナーゼに対して異なる基質特異性を示し、組織分布と細胞内局在が異なり、細胞外刺激による発現誘導様式も異なります。この遺伝子産物は ERK1、ERK2、および JNK を不活性化し、様々な組織で発現し、核に局在します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。さらに、複数のポリアデニル化部位が報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



DUSP4 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した C2C12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。